



千束地区自治会連合会 発行
 地域力推進千束地区委員会

編集長 土屋 光 一
 事務局 電話 3726-4441

わが町の防災

災害発生に伴う避難について

は、地域の協力体制が絶対不可欠となります。「私たちの町は私たちが守る」という強い意識をもって、日常的な活動の一部として取り入れ、自治会等身近な単位で自発的に災害に取り組みなければならぬと思います。

又避難場所では密集した空間の中での集団生活が予想され、現在猛威を振るっている新型コロナウイルスやインフルエンザといった感染症のリスクが高まる可能性があり、感染リスクを軽減するための工夫が必要となります。

「ふるさと千束」では、平成24年の第45号で「わが町の防災」を取り上げましたが、現在多発する地震等の災害、新型コロナウイルスの感染拡大等を重要視し再度、自治会の皆様の災害に対する、取り組み、問題点

についてお聞きいたしました。紙面の関係上本号と次号にわたり各自治会町会の災害に対する取り組みを掲載いたします。

用心に越したことはない

南千束東自治会

会長 林 義雄

首都直下型地震がいつくるのか、誰にもわからない。

しかし、用心に越したことはない。

わがまち南千束は防災倉庫を南千束児童公園に設置しています。倉庫の力ギは役員全員が持ち、いつでも開錠できる体制にしています。倉庫内には「スタンドパイプ」(消火栓にホースを接続し、約八十メートルまで延ばし、放水消火ができる。)や「照明用ランタン」「簡易トイレ」「ブルシート」「ヘルメット」「タシカ」「ヘッドライト」「軍手」「電池」等々が収納されています。自治会が実施する防災訓練は年2〜3回、場所を変えている

いるな所の消火栓を利用した消火訓練を実施しています。

また、大きな訓練としては赤松小学校が実施する防災訓練に合わせ北千束東自治会と合同で防災訓練を実施しています。

赤松小学校は災害発生時の避難所であり、大地震や風水害等で自宅での生活が困難になったとき等の受け入れ先ともなります。

首都直下型地震で一番予想されるのは火災による延焼です。

南千束は比較的住宅の間隔がありませんが火災は本当に用心しなければいけません。

消防車はまず来ません。したがって各自、各家庭で火事を出さない。出火してもすぐ消火器等で消火することです。それには日頃の訓練が必要です。そして頭で考えるのではなく、身体で覚えることです。いざというとき、気が動転し慌てていては、火を消すことはできません。

是非、自治会の訓練に参加してください。

最近あちこちで地震が多発しています。
みんなで協力し、助け合い、そして安全で安心な住みよい街にして行きましよう。



今後の避難所運営について

石川町会

伊藤 正和

わが町石川町会は大田区のはづれに位置し、目黒区と、世田谷区に隣接し、石川町の面積の3分の1は東京工業大学がしめ

ている大変静かで緑の多い住宅地です。そのほぼ中心に呑川が流れています。この川は世田谷新町を源としていますが、現在は新宿区上落合にある落合水再生センターで高度処理した再生水が流れて来ています。普段は水量も少なく静かな川なのですが、昨今の局地的豪雨になりましてと川の様子が一変します。川があふれたら大変なことになるといつも心配しております。川の脇には石川台中学校があり避難場所となっておりますが、局地的豪雨の場合川を渡って避難することはとても危険で考えられません。又避難所運営は雪谷石川台自治会と合同で行っておりますが、雪谷石川台自治会の方々も川を渡ってくることは不可能と考えます。又、川の反対側に住んでいる人達が石川台中学校に避難した場合どう対処したら良いのか大田区に指導をお願いしているところです。

防災用の備品も石川町会として少し揃えておりますが防災倉

庫も呑川の近くにあり川が氾濫した場合は使用不可となります。又昨今の新型コロナウイルスの影響で避難は、密閉、密集、密接の状態になる可能性が大であり、その対応をどうするのか、又マスクの確保も必要になると考えております。ここで今までの震災の避難と風水害の避難にプラスしてコロナの問題も合わせて避難所運営のあり方をもう一度原点に戻って考えなければならぬと考えています。



祖父から聞いた
忘れられない話

北千束中自治会

山本 公一

一九二三年九月の関東大震災からまもなく一〇〇年近くなります。当時私の祖父は熱海の手前、根府川で鉄道熱海線の工事に従事しておりました。前年末に開通したばかりの線路が歪んでいる、おかしいおかしいと言っていた矢先に大地震。

根府川駅に止まっていた八両編成の列車が、乗客を乗せたまま、ホームごと、大きな土石流に飲み込まれ相模湾の中へ、海からは大きな津波が！そんな現場で負傷者の救出に関わった。

又、祖母と母（当時二才）は高台にあった官舎に居て難をのがれた。しかし余震が怖く家に居られず畳を庭に並べてしばらく居たとの事（現在もそのホームは海の中だそうです）。

京都大学の鎌田浩毅教授は、先の東日本大震災で、日本列島



は東西に五メートル引き延ばされ、その歪み解消のために「大地変動の時代」に入った。首都直下型地震に備えを！と警告されています。

中自治会の防災訓練は年一回。五月には、街角防災としてスタンドパイプに特化した防災訓練の出前です。目黒線をはさんで北側と南側の二ヶ所で同日時間をずらして開催、マンホール蓋の開け方、中にある消火栓の構造、スタンドパイプの接続や放水の体験等、御近所の皆さんとても熱心に参加していただきました。

九月には、目黒線上桜新道での防災訓練、役員さんのアイデアで「防災食品を美味しく食べる」の試食会を併設したり、レトルト食品を配布したり、多く

の参加者が見えて、消防団の皆さんも、大変熱の入った指導で、すばらしい訓練になりました。今年は新型コロナの影響でさまざまな催しが中止になりましたが、防災訓練の中止が特に残念です。

わがまちの防災活動

大岡山北口商店街振興組合自治会

市民消防隊長

千賀 清二

大岡山北口商店街振興組合は、商店街事業の運営とは別に商店街組織そのものが、会員数百五十余名で構成された小規模の自治会となっており、その活動内容は主に行政や関係機関と会員をつなぎ、各種の事業、自主防災・防犯活動・交通安全・清掃活動等の環境事業や共同募金・歳末助け合い運動等の社会福祉活動等を行っております。その中の防災関連事業につきましては、避難所運営委員会への

参加をはじめ防災訓練の実施・市民消防隊と自衛団のポンプ操法訓練を随時開催して災害時の備えの一つとしています。

当自治会では、毎年九月の第二日曜日・午前八時より十時まで、大岡山駅前ロータリー周辺を会場として防災訓練を実施しております。この防災訓練には、行政をはじめ、田園調布消防団第九分団等、地域防災に関わる皆様の指導の下、約六十名の方々に参加いただいています。

訓練内容は水消火器による初期消火訓練・AEDを使用した救命救急訓練・スタンドパイプの放水実地訓練等です。また自衛団のD級ポンプ・市民消防隊のC級ポンプ放水操法訓練等・自治会女性部による災害時炊き出し訓練を実施しております。地域の方々に消火・救命・救護等の知識と関心を持つて頂き災害時にこれらを活用して頂いて、少しでも落ち着いて避難行動が行えるようにと考えています。

さて、私の所属している市民



消防隊は、昭和五十二年に発足し当初、隊員数は二十名を超えていましたが、その後、隊員の高齢化や店舗廃業等で、脱退者が増え現在では五名で隊を維持しています。当商店街会員もテナントが増加し、なかなかの様な活動には参加して頂けない状況下ではありますが、今後新規隊員増強を行いながら災害への準備を重ねていきたいと思っています。

赤松小学校

改築工事状況

現在赤松小学校では校庭に仮設校舎を建設する為の基礎工事が行われています。

工事は授業への影響を考慮し、現在の教室を校庭に建設された仮校舎へ移動し、その後旧教室を解体し、工事終了後順次新教室へ移動するという計画です。

また校庭が使えない為、体育関係の授業は体育館、洗足池公園子ども広場で行われております。授業等学校行事が行われている中での長期工事となりますので、工事関係者の皆様にはくれぐれも安全を第一に作業していただくことをお願い申し上げます。
尚、竣工は令和九年四月を予定しております。



令和2年9月現在の様子

わたしの仲間

その11

壮々クラブ

20年の歴史を持つマージャンを楽しみます。

明朗マージャンを理念とし、マージャンを通して会員相互の親睦と老壮年期の能力・体力・気力の維持向上を目指しています。

現在補充会員を若干募集しておりますので、お気軽にご参加ください。

また開催日や会費についてはお問い合わせください。

場所 石川町文化センター
連絡先 長富 力雄
連絡先

03-3727-2653



千束地区管内の数字

人口	男	11,714人
	女	13,288人
	計	25,002人
世帯	13,633世帯	

令和2年10月1日現在

編集後記

新型コロナウイルスの拡大・加えて今年の猛暑で私たちの生活様式が変わって来たように思います。その中で私達は様々な災害に遭遇した時にどうするか。わが町自治会の方々のお話しを参考に、災害を少しでも未然に防げるように心掛けたいと思います。

コロナ禍で外出を控えている私には、度々本紙に登場している洗足池周辺や勝海舟記念館への散歩は、心を和ませてくれます。今年も水辺に群生している「半夏生」が、綺麗に咲き揃い白い穂がキラキラと輝いていました。

私達は、自然に恵まれ良い環境の中で生活しています。本当にありがたいと思わずにはいられません。

町会の行事やイベントが、今年では中止や延期になってきます。早く平穏な日常に戻って来る事を願うばかりです。

E・K 記